

わたしたちのまち『都留市』の目指すべき将来像

『ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる』

プロジェクトごとに現在どのように事業が展開されているかなど、写真などを使い分かり易く事業の『見える化』を行い、市民の皆さまへ市の施策の透明性を図ってまいります。

プロジェクトⅠ 生涯活躍のまち・つる(CCRC)事業の推進

- ・ 政府が推進する『生涯活躍のまち』構想の実現を進める全国先進7団体に選定
- ・ 『生涯活躍のまち・つる』基本計画、実施計画策定
(H29年春 旧雇用促進住宅下谷宿舎活用のサービス付き高齢者住宅等事業者公募開始予定)
- ・ 都留市CCRC構想研究会を計6回開催
- ・ 都内での移住イベント、お試し居住、つる知るツアーの開催等による本市移住希望者リスト確保
(現在約500名)
- ・ 本市の紹介、PRするための映像6パターン作成及びテレビ放映等移住促進PR実施
- ・ 快適遠距離通勤助成の実施(助成実績17名)
- ・ 大学コンソーシアムつる(市内3大学連携)の推進
(ホームページ立ち上げ、広報へのコーナー設置、イメージキャラクター『コンつるくん』誕生、3大学の産業まつりへの出店、災害協定締結、地元企業との製品開発研究など)
- ・ 地域の方の生きがいややりがい作りの場『いーばしょづくり』事業の展開(現在10カ所)
- ・ 高齢者はつらつ健康ポイント制度の開始(※つるポイント店会発行『わくわくカード』ポイント付与)
- ・ 『健康ジム開設』に向けての検討開始(公共施設活用策検討)



都留市CCRC構想研究会の様様



都留市移住・定住相談センター
※市庁舎となり



移住者向けの『つる知るツアー』
※道の駅裏ほ場にて



3大学合同での産業まつりへの初出店!
※学生が市長の血圧を測定



大学コンソーシアムつる
イメージキャラクター
『コンつるくん』誕生

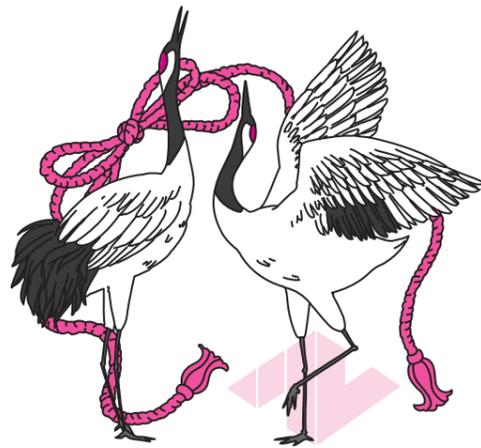
■コンつるくんとは前ページの挿絵2つは職員が考案し、『心を込めて』手書きにより作成したものです。



地域の『いーばしょづくり』事業
※健康体操の様様

新年のごあいさつ

都留市長 堀内 富久



あけましておめでとうござい
ます。市民の皆さまには、輝かしい
新春をお迎えのことと心からお
喜び申し上げます。
平成25年12月就任以来3年が
過ぎ、新たに策定した第6次都
留市長長期総合計画に掲げる『6
つのまちづくりの方向』と『都留
市総合戦略』の施策をリンクさ
せた『リーディング・プロジェ
クト』に基づき、基本構想に掲
げる将来像である『ひと集い学
びあふれる生涯きらめきのま
ちつる』の実現に向け、様々な
施策を積極的に展開していると
ころであります。市民の皆さ
まをはじめ、市政に関わる多く
の皆さま方に多大なるご支援を
いただき、市政運営が推進でき
ておりますこと心から感謝申
上げます。

この計画の中心となるべく
『生涯活躍のまち・つる』事業に
つきましては、市内に立地する
3大学との連携や、東京圏から
ほど近い距離にありながら清冽
な水や恵まれた自然環境がある
という本市の特性を軸に、民間
事業者などと連携し、元気な高
齢者を地域に呼び込むことで、
地域全体の総合力を向上させる
ことを目標として取り組んでお
ります。
本市のこれまでの取り組みが
一定の熟度があり、先導的であ
るとの評価を受け、政府が推進
する『生涯活躍のまち』構想の実
現を進める全国先進7団体に昨
年6月に選定されました。
今後とも国の支援をいただきな
がら、地方創生における地方移
住の推進と、市民誰もがいつま
でも元気できらめく人生を送れ
るようなまちを目指し、精力的
に取り組んでまいります。
昨年11月には、県内では初め
ての重点道の駅に選定されまし
た『道の駅つる』をオープンさせ
ることができました。多くのお
客さまにご来場いただき、都留
市の恵みを味わい、感動し、満
足していただき、『市民に愛さ
れ』『地域に愛され』『訪れる人に
愛される』道の駅となるよう目
指してまいりますので、皆さま
のご愛顧をよろしくお願い申し
上げます。
平成19年度末をもって分娩が
休止されておりました都留市立
病院における産科分娩につきま
しては、この度、山梨県並びに
山梨大学医学部附属病院のご協
力をいただき、平成30年度より



当院におきまして分娩が再開で
きる運びとなりました。
市内で安心して分娩ができる
産科の再開は、市民並びに東
部地域住民の皆さまの悲願で
あり、関係機関と綿密な打ち
合わせをする中、万全の体制
をもって再開できるよう諸準
備を進めてまいりますので、
更なる市民の皆さまのご理解
をお願いいたします。
今後、本市におきましても少
子・高齢化がさらに進展して
いくことで、現状の課題が増
し、新たな諸課題の顕在化など
が想定されますが、本市の将来
像『ひと集い学びあふれる生涯
きらめきのまちつる』が実現で
きるよう、全身全霊で取り組ん
でまいりますので、市民の皆さ
まの一層のご支援とご協力をお
願い申し上げます。
結びに、本年が皆さまにとつ
て幸多き年となりますことをご
祈念申し上げ、謹んで年頭のご
あいさつといたします。

プロジェクトⅢ 『教育首都つる』のさらなる発展

- ・桂高校跡地への健康科学大学看護学部誘致(平成28年4月開学)
- ・都留文科大学学生寮『国際交流会館』平成28年3月新設設置
- ・都留文科大学用地拡張事業(県南都留合同庁舎を大学キャンパスへ)
- ・グローバルな視点で地域創生に活躍するリーダーの養成などを目的とする都留文科大学『国際教育学科』平成29年4月設置
- ・学生アシスタント・ティーチャー派遣学生の拡充を実施
- ・放課後子ども教室の充実(新たに禾生第一小学校に設立:6小学校区で実施)
- ・小中学校地震対策補強事業の推進継続(非構造部材耐震化)
- ・『やまなしまなびネット』への市内生涯学習情報登録の推進
- ・大学コンソーシアムつる(市内3大学連携)の推進【再掲】



桂高校跡地に開学した健康科学大学看護学部 ※県産材を活用した校舎



大学コンソーシアムつる
阿部校長・笹本学長・市長・福田学長
(産短大) (健科大) (文大)



興味津々！放課後子ども教室の様子

プロジェクトⅣ 心豊かに暮らせるきらめきのまちづくり

- ・市内で安心して分娩できる産科の再開(平成30年度市立病院再開予定)
- ・『道の駅つる』方面への新路線バス運行開始(平成28年11月～)
- ・安心・安全な出産を支援するマタニティタクシー利用の助成制度開始
- ・妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対する切れ目ない支援のための子育て世代包括支援センター『子育てほっとステーション』平成28年4月設置(いきいきプラザ都留内)
- ・不妊治療助成事業の拡大(平成28年度から一般不妊治療への治療費助成開始)
- ・定住人口増加を目的に『30歳同窓会』の開催
- ・『いーばしょづくり』事業の展開(現在10カ所)【再掲】
- ・高齢者はつらつ健康ポイント制度の開始【再掲】
- ・『健康ジム開設』に向けての検討開始【再掲】



いざ出発！『道の駅つる』へ
※昨年11月から運行開始(谷村町駅発)



～安心して産み育てられるまちへ～
『子育てほっとステーション』設置
(いきいきプラザ都留内)



昨年実施された『30歳同窓会』
～つるに恋～

プロジェクトⅡ 道の駅つる(農林産物直売所)を核とした地域活性化

- ・県内初の重点道の駅に選定された『道の駅つる』オープン(平成28年11月5日落成式)
(平成25年12月市長就任時より道の駅構想スタート、H26年度基本設計、H27年度詳細設計、H27年11月工事着手、H28年9月工事完了)
- ・農業従事者を対象とした農業技術向上講習会を延べ24回開催
- ・農林産物地産地消及び6次産業化推進事業による農業従事者・起業者等への助成
- ・富士湧水を活用した特産物のブランド化事業立ち上げ(生産費用等助成)
- ・おもてなし戦略事業等を展開
(市内3中学及び市民への『おもてなし講演会』の実施。『つる観光』への道筋事業実施など)
(木のデザインチームによる道の駅つるキッズルーム及び施設内看板作成)
- ・地域活性化のための『じょいつる市場』を計6回開催
- ・道の駅オープン記念イベント『リニアと翔る都留ロードレース大会』開催(約1200名参加)
- ・道の駅つる運営会社『(株)せんねんの里つる』設立(市及び市内企業等出資)
- ・農林産物直売所のエンジンとなる出品者による『道の駅つる生産者組合』の設立
- ・中山間地域総合整備事業(県営型)の事業計画策定(事業期間:平成29～37年度・総事業費:23億円)



地域活性化の起爆剤！
『道の駅つる』オープン！



『売れる野菜づくり』農業講習会の模様
※道の駅オープンまで延べ24回開催



『道の駅つる』
田園風景にマッチした木をふんだんに使ったモダンな建物！地元生産の野菜、富士湧水ポーク、ヤマメなど都留の恵みが満載の直売所！地元食材を活かしたレストランやテイクアウトコーナー・お惣菜調理場、地域住民のアイデアで完成したキッズルーム！地元の女性デザイナーなどのセンスを取り入れた『憩いの広場』や子ども達が楽しめる『スポーツ広場』もあり！市民の皆さま、1日のんびりとおくつろぎください！



『じょいつる市場』で賑わう高尾町通り



『道の駅つる』のオープンを記念しての「ロードレース大会」の模様！